

まちの としょかんだより

2017.4月 No.1 (高学年)



～こどもの読書週間～

おすすめの本

新しいことが始まる春。自分の未来についても考えてみよう！大人になったらどんな仕事をしようかな？大人になるのが楽しみな、お仕事の本をご紹介します。

	タイトル	作者	出版社	請求記号
1	魔法のハサミがやってきた！ (バーバー・ルーナのお客様 1)	岡田 貴久子 / 作	偕成社	91 才
2	金色のキャベツ	堀米 薫 / 作	そうえん社	91 ホ
3	サムのおしごと (おめでたこぶた その3)	アリソン・アトリー / 作	福音館書店	93 ア
4	がんばる！ニュースキャスター	小田桐 誠 / 作	ポプラ社	69 才
5	ぼくの職場は富士山です	近藤 光一 / 作	講談社	78 コ

「アリスの見習い物語」

カレン・クシュマン / 作
あすなろ書房 (93ク)

14世紀のイギリスを舞台に、家族も家も、名前すら持たない少女が、見習いの仕事への向き合い方を通じて「自分」を見つけていく物語。当時の暮らしや文化もリアルに感じられて、ファンタジーよりも驚きがいっぱいの一冊です。



「しごとば」

鈴木 のりたけ / 作
ブロンズ新社 (36ス)

いろんな職業の「しごとば」をのぞける本。身近な仕事から、「そんな仕事を上げるの!？」というものまで紹介されています。専門的な道具が並んでいるのをながめるだけでも楽しい!



5月13日には、図書館で
お仕事体験もできるよ!

「焼き肉を食べる前に。」

絵本作家がお肉の職人たちを訪ねた!

中川 洋典 / 聞き手・絵
解放出版社 (64ナ)

わたしたちが毎日のように食べるお肉。生きた動物が肉になってわたしたちに届くまでの間にも、いろんな人の仕事があります。知られることが少ない、けれど確かに必要な仕事について教えてくれます。

